

第5回 伊丹市行財政審議会 議事録

伊丹市行財政審議会

第5回 伊丹市行財政審議会 議事録

1. 日 時 平成27年8月10日（月）10：00 ～ 12：00
2. 場 所 市役所議会棟3階 議員総会室
3. 出席者 **【委員】**
松尾会長、和田副会長、黒瀬委員、田爪委員、角田委員、仲野委員
(欠席：明石委員、藤原委員)
【事務局】
後藤財政基盤部長、須磨財政企画室長、野中経営企画課長、
中畠財政企画課長、桝村総合政策部長、宮木政策室主幹、
辻本主幹、前田施設マネジメント課長、
4. 傍聴者 0人
5. 議 事 (1) 開会
(2) 議題
 - 1) 第4回審議会の議事概要について
 - 2) 健全な財政運営について
 - 3) 魅力ある都市経営について(3) 連絡事項
(4) 閉会

(1) 開会

- 事務局
 - ・ 本日は明石委員、藤原委員が欠席だが、伊丹市行財政審議会規則第6条第2項により、過半数を満たしているため、会議は成立している。
- 会長
 - ・ 本日の会議録の署名は、黒瀬委員と田爪委員にお願いしたい。
 - ・ 本会議は伊丹市行財政審議会傍聴要領に基づき原則公開するとなっている。本日の傍聴者は0名である。

(2) 議事 1) 第4回審議会の議事概要について

<事務局より資料に基づいて説明>

(2) 議事 2) 健全な財政運営について

<事務局より資料に基づいて説明>

- A委員
 - ・ 庁舎分として平成28年から平成34年までの間、毎年1.5億円積立てていくということだが、これは庁舎の維持というところで積み立てるのか。
- 事務局
 - ・ 庁舎は昭和47年に建設され、そろそろ建て替えを検討しているところで、2万㎡以上あるので建て替えに係る経費は相当となるため、維持管理ではなく建て替えのために積み立てている。
- A委員
 - ・ 専門部会でも話があったが、民間の資本を導入する等の案が出てきた場合、この基金はどう位置付けられるのか。
- 事務局
 - ・ PFI等で民間資金を導入したとしても、借入れの返済は伊丹市が分割して行っていくことになると思われるので、初期投資を軽減させるという意味では、基金を有効に活用できると考える。
- 会長
 - ・ 公共施設の保全等にかかる経費は、基金の活用により均していくということだが、公共施設のマネジメントのための支出について、一般財源を確保し、一定額の市債を発行できるようにするというのは良いと思うが、再配置計画は利用者との調整もあり、市の計画通りにはいかず、ず

れていくことを考えておく必要がある。投資の時期が遅れると、市債は発行が後ろになるだけだが、確保した一般財源が剰余になった場合、再配置分は後年度にやり残した分をまとめて行う可能性があるため、基金に留保しておく考え方が良いのか、それについてどう考えているのか。

- 事務局
 - ・ 公共施設マネジメントのために10億円の一般財源まで許容するが、合意形成が図れず、例えば6億円で止まり4億円余った場合、基本的には4億円分を先送りしているという判断で、公共施設等整備保全基金に積み立て、合意形成が取れた際にいつでも支出できる体制を整えるという規律を入れたいと考えている。
- 会長
 - ・ 一般剰余は財政調整基金に積むが、再配置分のやり残している分については保全基金に積む運用という理解で良いか。
- 事務局
 - ・ 実際に4億円余ったとしても予算時に歳入が見込めるかは分からず、積み立てられるとは限らないので、決算対応になる等、手法は様々考えられるが、運用としてはその通りである。
- 副会長
 - ・ 一般財源と基金がミックスされた時の対処法が難しいが、基金で上手く積立て、行政が計画通りいかない時の一般財源をどう使うかという制約のある基金は興味深いと思う。攻めの部分と守りの部分の両方からプッシュするやり方で、無駄な抛出はなく、先に切り詰めた分で足りなければ基金でという考え方は面白いと思う。
- A委員
 - ・ 差押物件をインターネット競売に出展しないのか。
- 事務局
 - ・ 実績として、インターネット公売は実施している。
- 会長
 - ・ 伊丹市が兵庫県下で徴収率が一番高い理由は何かあるのか。
- 事務局
 - ・ 一つは地方税法、国税徴収法に基づいて実施しているが、その中で全国的に見れば、納税猶予等の若干裁量の効く部分で伊丹市は体制を強化して、高額滞納を中心に早期着手をしっかりとやっていることと、差押、家宅捜索を行い公売ということを積極的にやってきた結果、本来先に収めて頂く税が後回しになってきた事例もあるが、納税者の皆様にも税を先に払うという意識が広がってきたことが大きいと考えている。

- B委員
 - ・ 資料に調定額が書かれていないので、その辺りを聞きたいのと、現年課税に問題はないと思うが、滞納繰越はどのような感じか。

- 事務局
 - ・ 滞納繰越の徴収率は33.7%で、平均的な他市の20%台より高い率で、そもそも現年のうちにお支払頂き、滞納繰越にしないということが大事であり、現年の徴収に力を入れている。

- A委員
 - ・ 徴収率がこれだけ高いということは、徴収する側のノウハウや組織がしっかりしているからだと思うが、他市と比較した時の強みは何か。

- 事務局
 - ・ 他市も工夫はしているかとは思いますが、一つは県の徴収のノウハウを学ぶため県と合同での徴収や、県税出身の地方税関係に詳しい税理士の方の講習を受ける等の取組を積極的に実施してきたことと、職員自身にスキルやノウハウが蓄積し、人事異動したとしてもそれが伝承できるような組織を作っていることと考えている。

- 会長
 - ・ 魅力ある都市経営の所に、行革効果が上がるほど更なる投資が可能にとある。これと政策的・投資的経費の取組方針として原則20億円の枠を設定することとの関係だが、効果が高い投資の事業案が出てきた場合に20億円の枠に囚われずに追加の投資をしても良いのか、枠を超えないという理解をした方が良いのかの考え方を教えて頂きたい。

- 事務局
 - ・ 例えば、新たな取組で1億円の行革効果が更に得られる場合に、21億円までやって良いのかという質問かと思うが、5年間の計画であるので、基本的には20億円の枠内でやっていくべきと考えるが、これは説明責任を果たすべきキャップであるので、1億円を追加で捻出出来るならば、追加で効果のある事業に投資するという議論があつて然るべきで、プランの見直しも必要であれば行うべきであると考えている。

- 会長
 - ・ 例えば、5年間の総枠で期間の健全性が維持できているという考え方や、健全性を低下させない原則のもと、投資を許容する考え方という理解が出来るということか。

- 事務局
 - ・ 健全化の指数や経常収支比率の指数が確保できるという説明を付した上で、見直しも可能というように考えていく。

(2) 議事 3) 魅力ある都市経営について

<事務局より資料に基づいて説明>

- 会長
 - ・ 検討中ということだが、次回以降に具体的な事業に関する資料が掲示されるのか。

- 事務局
 - ・ 9月の下旬に素案の策定を予定しており、9月下旬から10月上旬開催予定の次回の審議会では何らかの形で報告する予定。

- A委員
 - ・ 2020年には人口20万人を目指すということだが、2020年には北大阪急行の延伸の完成、第二名神の開通があり、物流だけでなく、人の流れが変わる時期になると思うが、他市よりも素晴らしい街にするというビジョンがはっきりしないと人が転入してくることはならないと思う。ライバルがいないと完結したまちづくりの基本方針にはなるが、ライバルを想定した場合に戦略体系図において、一番重要になる部分はどこか。

- 事務局
 - ・ 一番他市と差別化が図れる事業は、基本目標「さらなる安全・安心を実現するまち」の重点施策「安全・安心見守り施策」の安全安心インフラ整備事業である。これは市内全域に1,000台のカメラを設置すると共に、発信機を持った方が通ると、その位置を知らせるシステムを付加し、他市にない高度なセキュリティの街をつくることで都市間の差別化を図る仕組みになると考えている。

- 会長
 - ・ 人口動態と財政面を考慮すると、どの世代に働きかけをするのが効果的なのか。

- 事務局
 - ・ 20～30代の子育て世代を中心に施策を展開していく。国勢調査においても異動が起きる年代層の比率は全国的に見ても、社会増減の比率は子育て世代から比較的若い世代が高くなっているため、その世代中心の働きかけとなる。

- A委員
 - ・ 民間の不動産の人気ランキングでランク外だった阪急伊丹駅周辺が近年ランクインしており、これは中心市街地活性化の効果があったと思うが、自治体単位ではランクが下がってしまい、伊丹市と阪急伊丹駅の間

に格差があると思う。中心市街地のマンションは販売と同時に完売することもあるが、夜は電気が消えている部屋も見受けられ、投資対象として買われているとなると、まちの活性化にもつながらないと思うが、販売戸数に対して実際居住している戸数の割合はわかるのか。

- 事務局
 - ・ 投資目的というものを把握するのは難しいが、モデルとして中心市街地の大規模なマンションに対して住民基本台帳から住所を移した人のデータはあり、基本的に投資対象がほぼ占めているという傾向は見られない。
- A委員
 - ・ 割合はどれくらいか。
- 事務局
 - ・ 初期のマンションに市内転入で入居した人と市外転入で入居した人を家族の人数と割合を見ていると、ほぼ半数となっている、一世帯当たりの人数は2.7人ということで、2カ所のマンションを住民基本台帳から見て、こういうデータが得られた。
- A委員
 - ・ 北大阪急行の延伸で伊丹から車で20分程の箕面の新しい市街地が今後注目されてくると思うので、ここに打ち勝つための施策が防犯カメラだけでは弱いのではないか。箕面は子育て世代にとれば魅力あるまちづくりを進めており、新しい市街地周辺も機能性に富んだまちになる可能性があるので、箕面をライバルにする必要はないが、しっかり押さえておかなければ負けてしまう可能性もあると思う。
- 事務局
 - ・ 伊丹市は子育て支援に関しても様々な施策をしているにも関わらず、情報が行き届いていないということは言われており、シティプロモーションや新たな媒体の活用を考え、伊丹の施策の発信を進めていかなければならないと考えている。また、にぎわいと活力にあふれるまちについて、空港を活かしたまちづくりというのもPRポイントであり、住宅施策についても、今は着手しておらず、民間が住宅施策を動かしている分野についても、更に研究する必要があるのではないかと考えている。
- 副会長
 - ・ 都市間競争という点で考えると、伊丹市の主力事業が防犯カメラ、防犯事業といったときに、地方創生としてどれだけのインパクトがあるのか疑念をいだかれることもあろうかとは思いますが、市民の暮らしの中で「あたりまえのこと」が忘れ去られている「安全・安心」を都市の根幹とな

る部分として捕らえたときには、地方創生において十分に戦略的であるともいえる。

- 予算的にも伊丹市として相当力点を置いているが、基本目標のひとつである「さらなる安全・安心を実現するまち」が他の基本目標である「未来を担う人が育つまち」や「にぎわいと活力にあふれるまち」に広がり繋がる仕掛けが重要。「安全・安心」施策は例えば、仕事で夜遅くに女性が一人で帰宅する場合でも、広い意味で女性の就労環境の整備といえ、また、子どもたちが安心して遊べる環境整備であり、子育て世代への支援といえ、更に今後日本全体がインバウンド対策事業に重きを置き外国人観光客が増えていく中において、観光者と居住者との間のトラブルを未然に防ぐなどの対応ができる。
- 基本目標の3つの柱を個別に推進するのではなく、「安全・安心」を全ての基本目標、全ての事業に網掛けしていくことを考えて戦略としてほしい。これが成功すれば、全てのリスクに伊丹市は対応してくれる、と市民は心から安心して暮らせる街になるだろう。今後、都市間競争の中では、あたりまえと捕らえられがちな治安という問題は、様々な場面で比較されるであろう。老若男女を問わず「安全・安心」はこの点において伊丹市は他市との差別化、魅力の発信に繋げていくことができれば、総合的にみて伊丹市に引っ越すきっかけになり伊丹創生の成功に繋がる。「安全・安心」を点ではなく、面で捕らえて欲しい。
- また、空港を活かしたインバウンド対策という点は伊丹市の独自性があり賛同できる。一方で転入者、人口の社会増にこだわるのではなく、市外居住者が伊丹市での滞留時間を長くするしかけに注力すべきでないか。インバウンド対策においてもオリンピックが終わったら終わり、ではなく伊丹市の空港を活用して、持続性のあるインバウンド対策に繋げていくことが可能ではないか。

○事務局

- 安全安心インフラ整備と書いているのも、カメラ整備のハードの部分だけでなく、子育てや福祉、シティプロモーションやインバウンド等のソフト事業とセットになり「安全・安心」施策が有効に働くものであり、「見守る目」というブルートゥースを使った新たな投資の部分もカメラと一緒に考え、日本一安全な通学路を実現していくような形で、伊丹で子育てしたい、安全安心に住みたい、働きたいと思うような様々なソフトと一緒に伊丹の魅力をPRしていきたい。
- 空港については、コンセションで新たな事業運営者が来るので、国際線が復活する可能性が高くなっており、過去に国際線があった時の経

済効果は大きかったので、インバウンドや都市の活力に繋がっていくと
思うので、それも含めて伊丹創生を頑張っていく。

- 会長
 - ・ 地方創生の計画期間は27年度から5年間で、他方、行財政プランと後期の実施計画は28年度からの5年間で1年ずれているが、ほぼ重なっている。今回検討している行財政プランは地方創生を円滑に実施できるような数字を設定しているのかどうか。感覚的にはどうか。

- 事務局
 - ・ 財政基盤部と総合政策部が両輪となり、調整を進めているところで、細かい数値はまだ詰まっていないが、感覚的には概ね収まるのではと考えている。ソフト事業、伊丹創生を含めた政策的経費4億円、投資的経費の10億円と6億円という内訳については、全体事業計画を見ながら整理していきたい。今は概ねの方向性を示したものとということにご留意頂きたい。

(3) 連絡事項 (省略)

(4) 閉会 (省略)